

第5章 鳥類

1. 調査概要	5-1
2. 調査結果	5-3
3. 参考文献・資料	5-35

資料編

- ・ 現地調査における確認種リスト
- ・ 確認種（写真）

執筆者 高原 和幸
岡部 海都

1. 調査概要

(1) 目的

宗像市全域の鳥類相の把握を目的とする。希少な鳥類、学術的重要な鳥類の生息地の状況や外来種の定着の状況を過去と比較することで、宗像市の自然環境の状況を鳥類の視点から評価し、今後実施・検討すべき保全の方向性について提言する。

(2) 調査対象と調査対象地域

調査対象は、日本産鳥類および野生状態で繁殖する外来種とした。調査対象地域は宗像市全域とし、重点調査地域として選定された12ヶ所および重点地域に選ばれなかったが、前回調査を実施した草崎半島、樽見川上流、鎮国寺、武丸周辺台地の4地域についても調査を実施した。またこれらの地域以外についても任意調査として観察した鳥類を記録した。

(3) 調査の実施状況

現地調査の実施状況を以下の表に示す。

表 5-1 現地調査の実施状況

調査地		調査日
1	沖ノ島	2015年：6/14、6/15
2	地島	2015年：5/9、5/17、6/21、9/15、10/3、 2016年：2/10、3/19、3/27、4/3、4/10
3	大島中央～北部	2015年：5/4、5/17、7/17、7/19、11/3、2016年：2/28、4/29
4	孔大寺山・弥勒山・金山・ 城山周辺	2015年：4/26、5/22、5/27、7/4、7/5、9/20、9/27、 2016年：2/10、2/22、4/16、4/19
5	さつき松原	2015年：5/16、6/20、9/21、12/29、12/30、2016年：4/24
6	釣川流域	2015年：5/5、5/13、5/16、6/4、6/13、9/19、10/25、10/28、12/27 、2016年：1/17、2/6、4/23、4/30、8/30
7	吉田ダム・多礼ダム	2015年：5/23、5/24、6/20、10/31、11/22、 2016年：1/11、3/21、4/29
8	許斐山	2015年：5/18、5/22、6/29、9/21、2016年：1/5、4/30
9	磯辺山	2015年：5/24、7/5、8/30、11/8、2016年：2/28
10	名残	2015年：5/5、6/1、8/30、11/7、2016年：2/6、4/24
11	八所宮	2015年：5/18、7/5、10/25、2016年：1/17、4/23
12	鐘崎	2015年：5/16、6/20、9/21、12/29、2016年：4/24
13	草崎半島	2015年：5/11、7/6、10/18、2016年：2/8、4/20
14	樽見川上流	2015年：5/10、6/22、9/4、10/19、2016年：1/12、4/29
15	鎮国寺	2015年：5/13、6/20、11/3、2016年：1/4、4/16
16	武丸周辺台地（新立山山麓）	2015年：5/23、6/13、9/19、2016年：1/17、4/23
	海上調査	2015年：5/17、2016年：4/2
	任意調査	2015年：4/9、4/30、5/1、5/4、5/5、5/17、5/22、5/30、5/31、 6/1、6/6、6/7、6/13、6/26、6/27、6/28、6/30、6/28、7/4、7/5 、7/12、7/19、7/20、7/23、7/25、7/26、7/30、8/8、8/9、8/14、 8/25、9/5、10/10、12/29、 2016年：1/2、2/3、2/11、2/14、2/22、2/29、3/5、3/6、3/21、 4/30、6/26

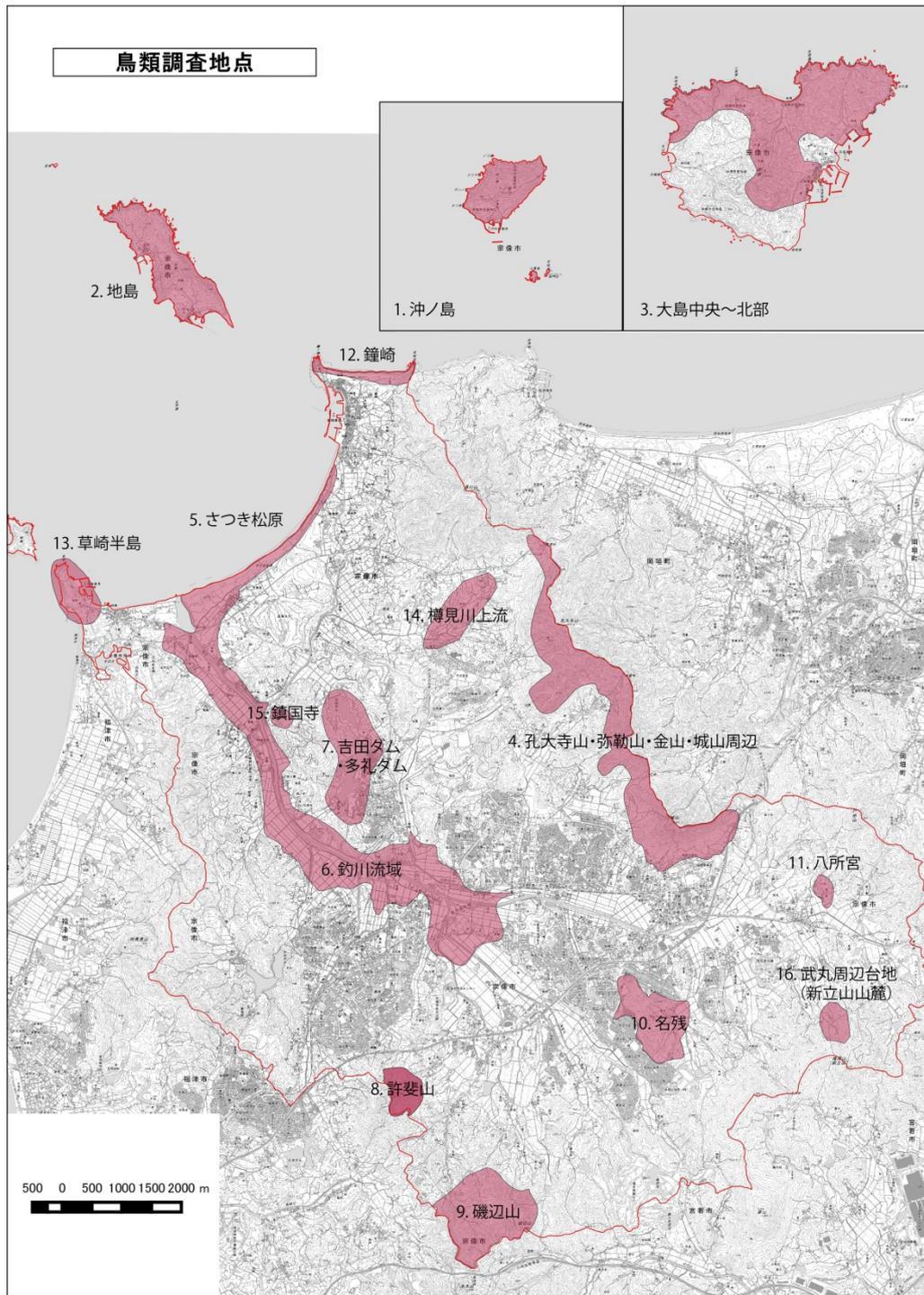


図 5-1 鳥類調査地点図

(4) 調査方法

目視および声による確認情報の記録を行った。

調査対象地域については4回(4季)を実施し、基本的には調査対象地域を徒歩等で移動しながら情報の収集を行ったが、春季に2度、船を手配し、海上からの調査を行っている。